

2009(H21).10.31

全国大会県予選の準々決勝は5－80で茗溪学園に敗れる

10月31日(土) 平成21年度全国大会県予選の準々決勝が行われ、日立一高は前半0－45、後半5－35、計5－80で茗溪学園に敗れました。



点差こそ開きましたが、茗溪学園に対してセットからの一次攻撃を完璧に封じ込め、前・後半ともに15分過ぎまでは一進一退の攻防が続きました。

しかし、この日も、今年春からの課題となっていた①キックチェイスのツメの甘さとカバーディフェンスの薄さ、②練習でやっていない場当たり的な思いつきのプレイ、③FWのモール・ラックでの不用意な反則、④前後半を通して走りきることのできないスタミナの欠如等は克服できておらず、攻め込んでもカウンターアタックでトライを奪われる展開が続き、時間の経過とともに点差は一方向的に開いていきました。

そのような中でも、後半16分の唯一のトライは、FWが真っ向勝負を挑んで、サイドアタックの連続から奪ったトライであり、来期以降に希望をつなぐものとして評価できるでしょう。

試合後、3年生には部活動を全うした達成感の笑顔と、感動の涙がありました。そして、2年生の何人かには悔しさの涙が見られました。今のこの気持ちを明日からのリスタートに生かし、継続し、それぞれの

目標に向かって、果敢にチャレンジして欲しいと思います。



最後に、今年は9人の3年生が最終戦まで活動を継続してくれました。彼らの勇気と決断と努力に敬意を表するとともに、新しい日立一高の伝統に結びついてくれることを願って止みません。

3年生のみなさん、本当にお疲れ様でした。そして、ナイスゲームをありがとう！！